

心不全患者における運動負荷時耳朶血流反応と運動耐容能の関連

1. 研究の対象

2017年1月～2024年12月31日に当院で心肺運動負荷試験を受けられた方

2. 研究目的・方法

心不全のある方では、運動がどの程度できるかが病気の重さや将来の見通しを考えるうえで大切です。これまで、運動の力を表す指標として「最大酸素摂取量」が使われてきましたが、心臓の働きだけでは説明できない違いがあることが分かっています。その理由の一つとして、体の末端まで血液をうまく配分できるかどうかに関係していると考えられています。運動をすると、血液は主に筋肉に送られ、皮膚などへの血流は調整されます。耳たぶは運動によって自ら酸素を多く使うことがないため、体全体の血流の調整状態を反映しやすい部位です。本研究では、運動中に耳たぶの血流がどのように変化するかを調べ、その変化と運動のしやすさとの関係を明らかにすることを目的としています。これにより、心不全の方が感じる「手足の冷え」などの症状を、体の血流調整の面から理解できる可能性があります。

研究方法はカルテから次項「3. 研究に用いる情報の種類」で示す情報を収集し、耳朶血流と運動耐容能の関連を解析します。

研究実施期間：研究実施許可日～2027年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年5月1日

3. 研究に用いる情報の種類

1) 年齢、性別、身長、体重、診断名、併存症、血液検査、内服薬、心エコー検査、心肺運動負荷試験結果、耳朶血流 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：秋田市広面字蓮沼 44-2 秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部、

電話：018-884-6372

担当者の所属・氏名：秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部

研究責任者 高橋裕介

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則